

1 題材名「望ましいネット社会との付き合い方について」

2 目標

I-4 地域や社会生活での安全

地域・社会で起こる犯罪や危険について理解し、安全に行動できるようにするとともに、安全・安心なまちづくりを目指す。

3 生徒の実態

生徒は、落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送っており、年間を通して生活指導面での問題行動はほとんど見られない。しかし、一部の生徒が、ネットで不適切な書き込みや個人情報の不用意な公開をしたことにより、学校非公式サイト等の監視による指摘を受けたことがある。生徒の多くは、スマートフォンや携帯電話などの情報ツールを利用しており、情報化社会の進展する中で、今後、生徒がネット犯罪に巻き込まれたり、その危険にさらされたりする状況が増加することが想定される。様々な機会を通して、意図的、計画的にネットに関する安全な利用法や情報モラルについての指導を行い、その危険を回避する力を身に付けさせることが喫緊の課題である。

4 本題材と「日常的な安全指導」「定期的な安全指導」「特設する安全学習」との関連

- ホームルーム活動や教科指導を通して、ネットモラル等に関する「日常的な安全指導」及び「特設する安全学習」を行い、安心・安全な学校生活を送るための生活態度を育成している。
- 「定期的な安全指導」として、朝礼や長期休業前の全校集会等を活用して、生活指導部などの教員からの講話を通して、ネット犯罪や情報モラルについて指導を行う。
- スクールサポーター等との連携を図り、セーフティ教室等の機会を利用して、生徒へ安全学習への指導を行う。

5 目標に迫るための指導方法の工夫

- ポスターの掲示や朝の声掛けなどを通して、生徒に日常的な意識付けを行う。
- 専門家による講演会や講習会を開催し、情報ツールを利用する際の危険やその対処について、最新の情報をもって考えさせる。
- 生徒意識調査（アンケート）を行い、本校の安全教育の目標がどの程度達成されたか、教育内容や方法における問題点を明らかにし、教材研究に生かす。
- 生徒による学校、家庭におけるルールづくりを推奨する。
- 生徒会活動等を活用して、生徒に情報モラルやネット依存の回避のための啓発活動を行う。

学校における
安全教育

必ず指導する
基本的事項

計画

実行

評価・改善

幼稚園

小学校

中学校

高等学校

特別支援学校

生活安全

交通安全

災害安全

避難訓練

安全教育推進のポイント

安全教育の充実に向けて

安全教育の実践事例

6 指導計画（3時間扱い）

時間	主な学習活動	安全教育の視点に立った留意点
1	(LHR) 話し合い活動 ○情報ツールの危険性について ○利用者の情報モラルについて	◎情報犯罪に巻き込まれたときの対応について、話し合う。 ◎危険を回避する方法等を検討する。
2 (本時)	(全校講話) ネット犯罪、情報モラル ○ネット犯罪事例(出会い系被害、誹謗中傷) ○情報モラル(ネット依存、フィルタリング)	◎ネット社会では、絶えず危険と隣り合わせにあることを理解させる。
3	(LHR) 振り返り、話し合い活動 ○ネット犯罪の危険性への理解 ○ネット依存の回避に向けての工夫	◎望ましいネット社会との付き合い方について考えさせる。

7 本時の展開（第2時／3時間）

(1) ねらい

日常的に使用されている携帯電話やスマートフォン等の情報ツールによるトラブルや情報犯罪等の現状を理解し、危険を回避するため対処の仕方を考える。

【I-4-⑧】 【I-3-⑥】

(2) 指導の実際

	○主な学習活動	◎支援・留意点 ■評価（評価方法）
導入	○本時のねらいと学習内容を理解する。 ○講演内容に関する説明を注意して聞く。	◎前時に学習した情報ツールの危険性について思い出させる。
展開	○講演を聞き、ネット依存から回避する方法や望ましいネット社会との付き合い方について考える。 【主な内容】 ・出会い系被害 ・不適切な個人情報の公開（個人情報漏えい） ・ネットによる誹謗中傷（いじめ） ・スマートフォン依存（ネット依存） ○各事例の問題点、解決策を考える。 ○望ましい情報ツールの活用について考える。	◎提示された事例について、問題点、解決策を考えさせることで、ネット犯罪の危険性や回避するための方策を理解させる。 ◎日常生活における自分自身のスマートフォンやインターネットの利用の仕方を想起しながら講演を聴くよう助言する。
まとめ	○生徒意識調査 ・アンケートにより、本日の講話を振り返るとともに、望ましい情報ツールの活用について考える。	◎情報ツールの危険性、マナーやルールを守ることの重要性を理解させる。 ■日常生活における携帯電話等の利用の仕方を振り返り、自身の課題、これから取り組むことを具体的に考え、アンケートに記述している。（アンケート）

(3) 評価

- ・情報ツールを利用する際の危険性、マナーやルールを守ることの重要性を理解できたか。
- ・日常の生活安全に対する自身の課題、危険やトラブルを回避する方法について考えることができたか。